

すぐ行動  
地域を駆ける



宗田ひろゆき

# むねた裕之

日本共産党

川崎市議会議員（高津区）



むねたひろゆき 🔍 検索



2018年号外  
日本共産党川崎市議会議員団  
川崎市川崎区宮本町1  
川崎市役所内 ☎044(200)3360

**Profile** 1958年北海道厚真町生まれ。函館ラサール高校、東京工業大学、米ホープ大学を卒業。コンピューター会社でシステムエンジニアとして働く。党神奈川県政策副委員長などを歴任し、2015年川崎市議会議員初当選。現在市議1期目、まちづくり委員会（まちづくり局、建設緑政局）副委員長。党市議団副団長。高津区末長在住。家族は妻と長女。

# の之裕たねむの プロフィール



## ごあいさつ

2015年の初当選以来、みなさんの願いを議会へ届け続け、相談件数は300件を超えました。地域の要求では、住民のみなさんと一緒に運動し議会でも取り上げてきました。

国政では、福祉切り捨ての政治が横行しています。また、憲法9条改悪に執念を燃やしています。こうした時こそ、地方自治体が国の悪政から市民の福祉、暮らしを守る防波堤となるべきです。地方自治体の本旨は「住民の福祉の増進」（地方自治法第1条）です。この立場から引き続きがんばりたいと思います。



幼友達と(右からふたり目)

1958年（昭和33年）10月30日、北海道の米どころとして有名な勇払原野にある厚真町で郵便局長の父と、本と絵や歌の好きな母の長男として生まれました。公営住宅に住む子どもたちと、山や川を相手にのびのびとした少年時代を送りました。町立厚真小学校では、5年生の時、立候補して児童会長もつとめました。

## 「自治って何だろう」 —高校時代

1974年に函館ラサール高校に入学し、寮に入りました。学校では生徒会や寮の自治会活動を奨励しており、当時は政治や社会に無関心でしたが、寮自治会の活動に参加し「自治ってなんだろう」と考え始めました。学校の校風はとても自由で、フランス人やカナダ人の先生もいて、生徒の自主性を尊重する教育をしていました。そこですばらしい数学の先生と出会い、数学の面白さを知りました。

## 党との出会い

大学受験に失敗して京都の予

## 川崎での学生生活

備校に入学した4月のある日、下宿に民青同盟の方が訪ねてきました。「政治や社会のことを勉強する団体」と聞いて、すぐ加盟しました。浪人生班では班長を引き受け、先輩に講師をお願いして勉強会にも取り組みました。核兵器廃絶の署名で団地を訪問したり、平安神宮の公園で学習会をしたり新鮮で刺激の多い、充実した浪人生活でした。こうした中で戦前、命をかけて戦争に反対し、戦後もいっかんしてその立場を貫いている日本共産党のを知り、ごく自然に入党しました。

1年間の浪人生活を経て19

78年東京工業大学に入学し、川崎市に引越してきました。

親からの仕送りに頼らずに学生生活を送るため、浪人時代から塾の講師をしていましたが、宮前区にあった「宮前アカデミー」で講師をし、150人の生徒たちに、勉強の面白さを伝えたいと奮闘しました。

## 「自分を試したい」 —アフリカ縦断の旅

1984年「サハラに死す」の小説に影響されて、単身アフリカに出発。当日は、成田空港に友人が大きな横断幕を掲げてくれ、見送ってくれました。自分はどうな人間なのか、この旅



浪人時代一嵐山に遊ぶ



成田空港で見送る友人たち

でくじけるようではどうせたいし、と出発しました。飛行機を使わない、地図をみてヒッチハイクしながら移動し、その土地の人と暮らし、その土地の言葉をしゃべり、理解し合う。アフリカは初めての海外旅行で、英語はカタコト、大学でかじったフランス語もほとんど役に立たない状態でした。最初に訪れたエジプトで、いきなりホームシックにかかりましたが、砂漠とジャングルをはいずるようになってか旅をし、自信にもつながりました。貧困の中で幼い子どもたちが死んでいく実態などを目の当たりにして、医学を学びたいと思うようになりました。

## 若者の「使い捨て」社会は許せない

1985年に帰国し、今度はアメリカで医学を学ぼうと、留学の資金を貯めるため、コンピュータのソフトウェア会社に就職しました。月200時間を超える残業で倒れ、辞めていく仲間を見て、若者を使い捨てるような社会に憤りを感じました。

資金もたまり、結婚して1992年アメリカミシガン州ホープ大学生物学科に留学しました。アメリカでの学生生活は充実していましたが、ただ勉強するだけでなく学生同士の交流の



ジャパンクラブのフェスティバルにて

場をつくらうと考え「ジャパンクラブ」を結成しました。40人ほどの会員が集まり、初代会長としてアメリカ人学生に日本の文化を紹介するなど、交流を深める努力をしました。1995年には阪神淡路大震災の募金も集め、日本に送りました。

## 「人の役にたつこと」が 存在理由

1998年に日本共産党の県会議員候補（中原区選出）になってほしいとの要請を受けました。自分は政治家に向いていないと思っていましたが、200時間を超える残業や職場で、ノルマに追い立てられて倒れ、やめていった仲間のことを思うと「働く人たちの置かれた状況を変えることが必要」と考えました。自分の存在理由は「人の役にたつこと」と思い、候補者をひきうけました。その後、16年間県議選、衆参両院選挙に挑戦し、2015年の一斉地方選挙で初当選させていただきましたが、今もその思いは変わりません。

地域のみなさんと  
ねばり強くとりくんできました



# 四方嶺住宅跡地は引き続き 市民要望にそった活用を

— 市民との運動と議会でも取り上げ  
土地の売却は中止に

市営四方嶺住宅跡地は、川崎  
市で最大の未利用地で、201  
6年7月の基本方針では、市有  
地の4分の3を民間に売却する  
という計画が出されていまし  
た。しかし、蟹ヶ谷で有志の会  
が結成され、「民間に売却しな  
いでほしい。」「避難場所、保  
育園、スポーツ公園



図1

をつくってほ  
い。」と4500  
筆もの署名が集ま  
り、地元18町会・  
自治会からも市長  
へ要望が出されま  
した。むねた議員  
は、跡地の活用  
について何度も議  
会で取り上げ、民  
間に売却せず、民  
間のための活用を  
訴えてきました。  
これらの運動  
で、2018年8  
月29日のまちづく

## 推薦の言葉

### 市民が困っていることに 跡地の活用を



市営四方嶺住宅跡地を市民のために活用する会  
菊池 清

蟹ヶ谷の高台の四方嶺住宅跡地1・7h(子母口小学  
校仮設校舎跡地)を、市は当初、特別養護老人ホームを  
建設し、残りを民間に売却する方針でしたが、2018年9  
月21~22日の説明会で土地の売却をとりやめ、「市が保  
有した状態で有効活用を行う」と基本方針の変更が出さ  
れました。この間、有志の会は署名を集める中でたくさ  
んの方から要望を受け、それをもとに、むねた議員に何  
度も議会で、市民のために活用すべきと取り上げていた  
だきました。蟹ヶ谷地域は施設や広場も非常に少ない所  
です。スポーツができる広場の設置、災害時の避難場所  
の確保、保育園の増設が切実な要求です。私たち有志の  
会は、住民に寄り添っ  
て、取り組んでいるむ  
ねた議員の活躍に期待  
しています。



り委員会で「基本方針の見直し  
(案)が出され、土地の売却が中  
止になりました。見直し案は、  
特養地域交流ゾーンに「地域交  
流スペースを併設した特養ホー  
ム(120床)」ができ、新たに  
できる福祉複合ゾーンには、  
「福祉機能等を複合的に備え  
た、サービス付き高齢者向け住  
宅」をつくり、災害時における  
防災機能も検討します。広場が  
0.5ヘクタールと前の計画の

5倍に広がり「日頃の地域イベ  
ントや防災訓練、災害時の一時  
避難場所などに利用できる広場  
を整備」します。また、その一  
部に誰もが気軽にスポーツに楽  
しめるスポーツ機能の導入をは  
かることになりました。(図1)  
大きな問題点もあります。今  
あるグラウンドは壊され、民間の  
有料スポーツ施設をつくる計画  
となりました。これでは、民間  
の業者が利益の出るような施設

(例えばテニス、フットサルなど)をつくり、今現在、スポーツ



四方嶺のグラウンドを使用している方たちの要望を聞くむねた議員

ツ団体などが利用している野球、ソフト、サッカーなどができなくなるのが予想されます。この地域では、多摩川まで行かないと、思い切って野球やサッカーができる場所がなく、東橋中や子母口小のグラウンドは、学校の部活などで使われており、ほとんど使うことができません。むねた議員は、引き続き市民のみなさんの要望に沿った跡地の活用をめざして力を尽くします。

様子をわかりやすく示す整備や地下遺構の存在を地上部に表示



千年の橘樹郡衙跡地

する等の整備を行う」とし、2018年10月に市教育委員会が、計画を発表。稲穂などの収蔵倉庫だった正倉しょうそうの復元のほか、デジタルコンテンツを用いて古代の景観を映し出すなど歴史を学び、体感できる場になります。むねた議員は、情報発信について「史跡専用ホームページの開設やSNS等を活用」することや公園へのアクセス、案内板については「ガイドンス施設、駐車・駐輪スペース」も要望しました。

## 橘樹官衙遺跡を 古代ロマンある公園に

――要望してきた、正倉の復元が実現！――

橘樹官衙（高津区千年、宮前区野川）は、7世紀から10世紀の地方官衙の実態を知るうえで全国的にも稀有な遺跡として、川崎市で初めて国の史跡として指定されました。「橘樹官衙遺跡群保存活用計画」が発表され、むねた議員は、市民の要望

に沿った保存整備・活用を求めてきました。特に、市民からの要望が多かった「たちばな古代の丘緑地」（高津区千年にある橘樹郡衙跡の公園部分）の整備については、計画で「橘樹郡衙正倉院のイメージを示しながら…当時の

### 推薦の言葉

遺跡を復元し、  
夢のある公園に



元市会議員 西村 英二

十数年にわたる調査の結果、橘樹官衙の正倉（税として集めた農産物などを保管していた倉庫）は、都が平城京に遷都される以前の7世紀後半から8世紀に造営されたものだということがわかりました。今川崎市では、当初の土地1652平方メートルに加え、新たに1161平方メートルを購入し、保存活用計画を作っているところです。むねた議員も議会の質問で「どんな時代の遺跡が埋まっているかがわかるような建造物をつくるように」取り上げています。この同じ武蔵国の榛沢郡衙の正

倉を復元整備した埼玉県深谷市のように橘樹郡衙遺跡群も整備されることを願っています。



深谷市中宿史跡公園にある復元された正倉

地域のみなさんと  
ねばり強くとりくんできました



# 高津区3か所に 特養ホーム設置が実現



高津区は、以前から特養ホームのベット数、整備率は行政区の中で最も遅れた地域です。2014年には「市営大谷第1住宅跡地」に特養ホームをとの要望書を市長宛に出し、議会で

も石田議員とともに、むねた議員が特養ホーム整備について毎年、議会質問を行ってきました。このような市民の運動、議会での活動が実り、久末地域に2か所（市営久末寺谷住宅の隣接



特養ホーム（市営久末寺谷住宅）に隣接

地、市営久末大谷第一住宅跡地）、蟹ヶ谷の市営四方嶺住宅跡地など計3か所に特養ホームが作られることになりました。しかし、川崎市の待機者数は3551人（18年4月時点）で、人口100万人規模の13政令市の中では待機率はワースト1位となっており、とても足りない状況です。さらなる増設を要望しています。

右岸工事は障害物除去のために延期、その後、左岸工事に着手  
高津区上作延の平瀬川では、老朽化した護岸の補修工事中に河川管理用通路が沈下するなどの変形が発生し、下流に向かって右岸の緊急対策工事を行いました。左岸（対岸）の工事については「右岸の工事に引き続き、左岸の約90m区間で18年度の完成を目指す」という計画です。  
むねた議員は、市営上作延第2住宅のある左岸のほとんどの

## 推薦の言葉

### 久末の特養ホームに入所できて

3年程前に主人が脳梗塞で倒れ、救急搬送されましたが、左半身に麻痺が残ってしまいました。川崎市政だよりで地元の新設する特別養護老人ホームの入所申請についての案内を見つけ、応募しましたところ、開設と同時に入所することができることとなりとても喜んでおります。建設にあたり、「この地域に特別養護老人ホーム建設」を呼びかけていた、地元の皆様とむねた議員の働きかけにより、実現できたこと、とても感謝しております。ありがとうございます。

H・A



## 平瀬川護岸工事の住民説明会を

方々が、自分の側の護岸工事について周知されていないことを指摘し、周辺住民への丁寧な周知を要望しました。

### 右岸の住宅の土台にひび割れ

現地を視察したところ、住宅やマンションの土台がずれており、住民の方々からいろいろな疑問や要望が出されました。ある方のお宅は、工事が始まってからも家の土台や変形が進み、戸はゆがみ、塀は河川側に傾き、地下の水道管が外れて水が



## 推薦の言葉

### 解決のために 奔走してくれた、 むねた議員



上作延在住 小松邦穂

7年前の東日本大震災後、ブロック積みの護岸に隙間が空いたり、地盤の沈下や電柱が傾いたりしており、市のほうも応急対策をしていました。一昨年から本格的な工事が始まりましたが、工事に伴い川沿いの道路や家屋にさらにひび割れや沈下などが起き始めています。

むねた市議は地元の方からの話を聞き、すぐに何回も調査に入ってくれました。調査の結果を踏まえて、市の予算特別委員会で質問をし、市側の考え方などが分かり、町会長などにも話を伝えました。問題が起これば迅速に行動を起こし、解決のために奔走するむねた市議の姿は、とても頼もしく思えます。



平瀬川護岸工事の要望を聞くむねた議員

漏れていました。自前で工事を  
行い、水道料金は市で負担して  
くれましたが、工事費用は自分  
で払ったということでした。新  
築の住宅にも10cmちかいひび割  
れが見られました。マンション

にお住まいの方からは、「住民  
説明会を開いてほしい」という  
要望が出されており、市に要望  
しました。  
平瀬川の護岸工事は、かなり  
長い期間続くと予想されます。

安全で環境に  
配慮した作  
業・工事も  
ちろん、周辺  
住民への住民  
説明会も含め  
た周知徹底と  
丁寧な対応と  
求めています。

## 中小企業支援で市内経済の活性化を

市内事業所の99%を占める中  
小企業の支援策を強めることが  
経済の活性化につながります。

むねた議員は川崎北工業会の  
オープンファクトリーなどに参  
加し、要望を聞いて議会でも取  
り上げてきました。

### マッチング支援事業で仕事確保を

先端産業と中小企業とのマッ  
チングについて、「企業訪問に年  
1回ぐらいでは本音が出ない」  
という声を紹介し、大阪のマッ  
チング支援事業で、様々な技術  
力を持つ専門家50人が中小企業

を訪問し、月1回のマッチング  
会議で、技術の販路につなげて  
いることを議会でも取り上げ、  
要望してきました。

### 中小企業の人材確保と若者の定着を

むねた議員は、川崎北工業会  
から「どこも平均年齢が高く、  
世代交代が難しい。後継者対策  
が切実」など、高齢化や人材確  
保で工場が苦勞している声を聞  
き、若者対象の就業交付金制度  
(北海道浜中町で実施/漁業、  
農業、商工業で働く若者対象の  
補助金)の提案や、奨学金返還



支援制度(兵庫  
県で実施/若手  
社員の奨学金返  
済支援を行う中  
小企業に補助を  
行う)を議会で  
取り上げ、中小  
企業の人材確保  
に取り組んでい  
ます。



困っている  
人がいたら  
放っておけない

## 3年間で300件以上の 生活相談

2015年からの3年間で、約300件の生活相談を受けてきました。道路や公園の整備の問題から、福祉・暮らしの問題、雇用・労働問題まで「何かあったら連絡ください。」と気軽に相談に乗ってきました。

↓石巻市で被災住宅の泥だし作業をする、むねた議員



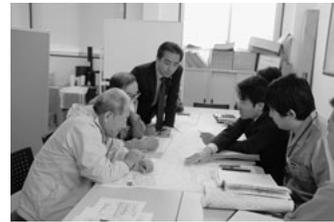
↑どろきアリーナで福島からの避難者に炊き出しのカレーを配る、むねた議員

東日本大震災の被災地へ、泥だし、がれきの片付け、仮設住宅への物資の届け、要望の聞き取りなど、震災ボランティアを呼びかけ、宮城・福島などの被災地に駆けつけた回数は22回に。2018年9月6日に発生した北海道胆振東部地震では、大きな被害を受けたふるさと厚真町にすぐ駆けつけ、避難所に着替えの下着や、電池などの物資を届けました。

北海道厚真町にも  
支援に駆けつけ  
震災ボランティア22回

目の前の傾斜地を開発して戸建て住宅や集合住宅を建てる業者に対して、住民の方々と一緒に5年間住環境を守ってきました。当初、既存の戸建て住宅の目の前に壁を作り、その上の建物を合わせると16mにもなって、日照が全く入らなくなるひどい計画でした。しかし住民の方々が会を立ち上げ、まちづくり連絡会とも共同して、業者に対して数度の住民説明会を開催させました。むねた議員は、この問題を議会でも質問し、まちづくり局とも交渉して、2度の計画変更をさせてきました。

## 5年間闘っている野川宅地問題 住居環境を守れと



中原街道の千年交差点から能満寺交差点までのありやまざか蟻山坂工区の工事が2016年11月に始まり、2019年度完成予定です。工事は、一時盛土(1m)3回、二次盛土(1.4m)でトータル4回の盛土工事が行われる大変な工事です。むねた議員は住民説明会や相談を受けた内容で議会でも質問。住民と一緒に南部都市基盤整備事務所との交渉も重ね、特に千年89号線の通行止めによる迂回路の問題、千年交差点の形状、住民への周知、歩行者や自転車の安全確保について、要望してきました。

中原街道拡幅工事で住民の要望を取り上げる



かけがえのない

1 市民と力をあわせ議会で論戦、市政を動かし願い実現

- 中学校完全給食がついに実現（2017年度中に全校実施）— 20年来の市民運動とともに
- 認可保育園の増設 — 今後4年間で8665人分の定員増を計画に盛り込ませる
- 小児医療費・入院助成の所得制限が廃止へ（2019年1月から）— 通院でも廃止求める
- こども文化センター集会室にエアコン設置 — いっきに13カ所の設計費（2018年度）
- 学校トイレの洋式化 — スピード倍化、2022年までにすべての公立学校のトイレ洋式化へ
- 就学援助の入学準備金を前倒し支給 — 中学校は2018年3月実施、小学校は2019年3月実施へ
- 子どもの貧困対策 — 学習支援・居場所づくり事業（12カ所へ）、ひとり親家庭等の生活・学習支援事業スタート



2 不要不急の大規模事業をきびしく追及し、キッパリ中止を求めています

- 市民生活に必要な2つの橋建設（羽田連絡道路300億円、臨港道路東扇島水江町線540億円）
- 東扇島堀込部の埋立土地造成事業（240億円）
- 船がほとんど来ない港のコンテナターミナル開発
- 1メートル1億円の高速川崎縦貫道路整備
- 採算性なく、まちこわしの鉄道整備＝川崎アプローチ線（300億円）



3 消費税10%やめろ、憲法9条まもれ、悪政許しません

川崎市議会で、福祉切り捨て・市民負担増、ムダな大規模開発を推進する予算に何でも賛成の自民・公明。国政でも消費税10%増税、憲法9条改憲、福祉切り捨てを進める安倍内閣。国政でも市政でも自民・公明と対決して国民の願いを託せるのは、日本共産党です。

政令市トップの  
豊かな財政いかに  
財源はあります

- 市税収入は5年連続過去最大
- 市のためこみ貯金（減債基金残高）は2305億円（2018年度末）
- 財政力指数は20政令市中1位

共産党は、不要不急の大規模事業やめ、福祉・くらしに予算を回す「予算組み替え案」を毎年提案しています。

国への意見書、請願への市議会主要会派の態度

2015年度以降の定例議会から抜粋

（賛成○ 反対●）

| 意見書・請願  | 自民 | 公明 | 民進 | 共産 |
|---|----|----|----|----|
| 国会における憲法論議の推進と国民的議論の喚起を求める意見書（15年12月議会）               | ○  | ○  | ○  | ●  |
| 元海兵隊員による女性遺体遺棄事件に強く抗議し、全ての米軍基地の速やかな撤去を求める意見書（16年6月議会） | ●  | ●  | ●  | ○  |
| 南スーダンに派遣されている自衛隊の即時撤退を求める意見書（16年9月議会）                 | ●  | ●  | ●  | ○  |
| 小児医療費助成制度に一部負担金を導入しないことを求める請願（16年9月議会）                | ●  | ●  | ●  | ○  |
| 生活保護基準の引き下げに反対する意見書（18年3月議会）                          | ●  | ●  | ●  | ○  |
| 消費税の増税中止を求める意見書（18年3月議会）                              | ●  | ●  | ●  | ○  |

\*「民進」は旧民主を含む。

# むねた議員に 期待します

## 笑顔あふれる 川崎へ

明津在住 延原清子



安倍政治の下、若いも若きも苦しんでいる  
昨今、川崎市は財政豊かと聞いています。そ  
のお金の使い道をぜひ住民の要求実現に向け  
て欲しいものです。高齢である私の要求は、  
早急な問題としては、歩道の整備（デコボコ  
で転倒しやすい）国保料の軽減（少ない年金  
では負担が重すぎ）です。誠実で常に弱者に  
寄り添って行動しているむねたさん。実現さ  
せてください。明るい未来が見えてきたら笑  
顔があふれてくることでしょう。むねたさん  
がんばって下さい。応援しています。

## より良い 介護保険制度を つくるため活躍を

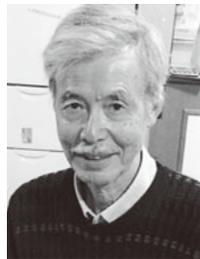
デイサービス 長寿の家  
鴨下元



高津区野川で、「デイサービス長寿の家」を  
運営しています。今、介護の現場は相次ぐ介  
護報酬の削減により経営が大変です。むねた  
議員は、現場の声に耳を傾け、市議会でしっ  
かりと取り上げてくれる、数少ない信頼でき  
る私たちの代表です。より良い介護保険制度  
となるように、引き続き活躍していただくこ  
とを期待します。



## リニア工事中止で 活動する むねた裕之さんの 奮闘を期待する



リニア新幹線を考える東京・神奈川連絡会 天野捷一

私は、この7年近くの間、リニア沿線住民  
の人たちと一緒に、リニア計画の撤回を求め  
て活動してきました。現在、JR東海が大深  
度地下使用認可の申請を出しており、国交大  
臣が認可すれば、首都圏の35kmにわたって  
大深度地下トンネルを掘る工事が強行されま  
す。リニアは鉄道の未来を拓くものではありません。また9兆円をかけてつくる価値もあ  
りません。むねたさんはリニア問題を取り上  
げ、高津区でも熱心に活動しています。川崎  
市の地下に無用の鉄道をつくることは、リニ  
アトンネル上の市民の生活や安全を損なうこ  
とに繋がります。市民と共にたたかうむねた  
さんに期待しています。



## むねたさんに 相談し職場との 話し合いで解決

久末在住 山田宏和



私が勤めていた職場で、退職をしたいとい  
う意志が固まり、そのことを直属の上司（店  
長）に伝えましたが、店長の上の部長から引  
き留めにあい、困っていました。その時に相  
談にのっていただいた方がむねたさんです。  
労働組合の紹介もして頂き、本部長との面談  
で、しっかり私の本心を聞いて頂き、うまく  
話が進みました。私自身も労働条件に関し  
て、勉強不足でした。お世話になったむねた  
さんに頑張ってもらいたいと強く思います。



## 奨学金の 返済負担を 軽減して欲しい

明津在住 葛西晶子



私には2人の子供がいます。高校2年生の子供は、本人が将来やりたい事を見つけ、その夢に向かって頑張っているところです。しかし、その夢を叶えるために行きたい大学はどうしても私立になってしまいます。まだ下の子もお金がかかる事を考えると奨学金制度を使うことも視野に入れています。ただ、奨学金は大学卒業後の返済が心配です。私の周りの30代の方でもいまだに奨学金の返済をしている方もいます。

兵庫県では中小企業と自治体が若手社員の奨学金返済を支援する取り組みがすでにあるとむねたさんから伺いました。川崎市でもそうした制度を今すぐにでも創設してもらいたいと切に願います。子どもが夢をあきらめることがないように、子どもの学びたい気持ちを大切にしてもらいたいです。



## 川崎から ヘイトスピーチを なくして

新作在住 南 真理



「むねちゃん」みんなにこう呼ばれて愛されている川崎市議のむねた裕之さん。

毎回問題になる、川崎桜本でのヘイトスピーチ。表現の自由という観点でなかなか結論が出なかつたりする複雑な問題ですが、ヘイトだけは絶対に許せません。グローバルな視点から物事を考えていけるむねたさんに、このヘイトスピーチを根絶できるように頑張ってもらいたいです。多様性を認め合い、輝く未来を川崎からつくっていきたくです。



## むねたさんは 現代の月光仮面 のような人

非常勤講師 平岩正夫



川崎市の非常勤特別職として10年以上勤務しています。2015年のこと、市から突然、契約切りの通告を受けました。理由は「若い女性が望まれているから」とのこと。理不尽さに憤りつつも、こちらは一個人、何をしても無駄かと観念しました。そうしたとき、むねた裕之議員を紹介されました。以降1年間にわたる労使闘争や関係者への直接の働きかけなど自ら俊敏果敢に活動してくださいました。その結果、ついに市が「解雇撤回」を申し出、念願の復職が実現しました。むねた裕之議員は、弱者を助け、不当な強者を挫く現代の月光仮面のような頼りになる信頼すべき存在として私の胸に深く刻まれています。

# みなさんの願い実現へ —全力でとりくみます

## むねた裕之のお約束

- 子どもの医療費無料化を所得制限なしで中学生まで拡大
- 認可保育園の増設で待機児童解消
- 私立幼稚園保育料補助増額、入園料補助の創設
- 小・中学校の35人以下学級の拡大
- 介護保険料・利用料の軽減
- 障害をもつ方が安心して暮らせるまちづくり
- 住宅リフォーム助成制度の創設
- 若者の就職支援、ブラック企業対策を
- 奨学金返還支援制度の創設
- 市営四方嶺住宅跡地は、避難場所とともに今あるグラウンドを残してスポーツ公園に
- 橋官衙遺跡は、民有地の取得を進め、遺跡がイメージできる公園の整備を
- 平瀬川護岸工事は、周辺住民への説明会や周知をすすめ、家屋調査など周辺住居への丁寧な対応を
- 中原街道の拡幅工事は、振動や迂回路の対策、千年交差点の形状など住民の要望にそった対応を
- リニア新幹線トンネル工事は、ルート上の地権者に対して土地利用の制限や損害の補償について説明し承諾をとるまでは工事の中止をJR東海に要請すること
- 矢上川流域、蟹ヶ谷、久末地域の洪水、土砂崩れを防ぐための防災・避難対策を
- 久末の配水塔跡地を子どもが遊べる広場と防災公園に
- 久末方面から溝の口行きのバス増便、久末・野川地域にコミュニティバス導入
- 消費税10%の増税中止
- 憲法9条を守り、戦争できる国づくりは許さない



## むねた裕之議員に期待します

(五十音順)

|        |                         |        |                     |
|--------|-------------------------|--------|---------------------|
| 秋元 サチ子 | 川崎医療生協橋支部副支部長           | 駒木 聡美  | 新日本婦人の会 高津支部常任委員    |
| 五十嵐 静治 | 橋地区スポーツ推進員              | 多田 安春  | 横浜建設一般労働組合川崎支部執行委員長 |
| 伊藤 貴美子 | 川崎市原水爆禁止協議会事務局長         | 中沢 鶴子  | 県営久末住宅老人会会長         |
| 梅津 弘   | 高津宮前民主商工会子母口支部長         | 西村 隆雄  | 川崎合同法律事務所 弁護士       |
| 熊本 守   | 川崎北部建職連合会橋支部支部長         | 野末 悦子  | 久地診療所・婦人科医師         |
| 小泉 勝利  | 電気工事業                   | 丸山 健二  | 川崎中部建設労働組合事務局長      |
| 小磯盟四郎  | 「まちづくり・環境運動川崎市民連絡会」事務局長 | 谷田部 洋子 | 川崎医療生協理事            |
| 小林 秀朋  | 神奈川土建一般労働組合川崎中央支部執行委員長  |        |                     |

### むねた裕之の活動地域

末長1～3丁目、新作、梶ヶ谷、千年、千年新町、蟹ヶ谷、子母口、明津、久末、野川、上作延、向ヶ丘